

科目名	足情報収集論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
足についての情報を収集する方法には、問診・触診・視診、足底圧、採寸・採型、歩行、使用中の靴の観察など、様々な方法があり、それらの方法を複合的に活用する必要がある。また、健康靴店、義肢装具会社、メーカーなど会社の業態によって採用される情報収集の方法・ツールが異なることを理解しておく必要がある。本授業では、様々な情報収集について、実際に使用・体験することでそのメリット・デメリットを比較検討し、必要に応じてそれらを適用・活用するための知識と選択能力の習得を目的とする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
通常の講義とともに、必要に応じて採寸や採型等足と靴に関する情報収集の実習やグループワーク、グループ発表等を行う。								
〔講師の実務経験〕								
健康靴専門店のゼニテツハウスPOSCに勤務。足のカウンセリング・計測からコンフォートシューズのシューフィッティング、健康靴・インソールの調整・加工、オーダーメイドインソール製作、靴修理を担当。シューフィッター資格取得。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
①足・靴に関する情報収集の手法について、それぞれのメリット・デメリットを説明できる。 ②足の基本の採寸・採型方法、また、靴のフィッティングチェックの方法を修得する。 ③足からはもちろん、履いている靴、歩行等から、足・靴に関する情報収集ができる。 ④出された課題に対し、グループで協力して考察、まとめをし、発表することができる。								
回数	講義内容							
1	講義1:ガイダンス:整形靴技術における情報収集の位置づけ / 講義内容説明							
2	講義2:足の骨 / フットプリント(実習)							
3	講義3:フットプリントの取り方							
4	講義4:フットプリントから得られる情報							
5	講義5:いろいろなフットプリント:①ポドトラック(実習) ②フットスキャン							
6	講義6:フットプリントまとめ							
7	講義7:いろいろな足の採型方法:①巻き付け法 (実習)							
8	講義8:巻き付け法の実習 / 足の採型②張り付け法(デモのみ)							
9	講義9:足の採型③キャストイングソックス(実習)							
10	講義10:足の採型④陽性モデル製作(実習)							
11	講義11:足の採型:各採型方法による陽性モデルの比較							
12	講義12:足の採型まとめ							
13	講義13:足の機能解剖学:形態的な特徴・体表解剖学							
14	講義14:足の観察:関節可動域など							
15	講義15:中間テスト(これまで学んだトピックスについて。確認テスト)							
16	講義16:足底圧の計測							
17	講義17:中間テスト解答							
18	講義18:いろいろな足底の採型方法と足底板製作システム							
19	講義19:足底の採型:トリツヤムによる採型(実習)							
20	講義20:使用中の靴の観察(靴の使用による変化)							
21	講義21:問答による情報の収集・カルテ作り(グループワーク)							
22	講義22:作成したカルテの発表(グループ発表)							
23	講義23:作成したカルテの発表(グループ発表)							
24	講義24:作成したカルテの発表 / 靴のサイズシステムと靴、木型の選択方法							
25	講義25:足の採寸方法:採寸部位、採り方による違い							
26	講義26:靴の選び方とフィッティング・フィッティングのチェックポイント							
27	講義27:靴の選び方とフィッティング(実習)							
28	講義28:姿勢・歩行の観察							
29	講義29:姿勢・歩行の観察							
30	講義30:まとめテスト							
定期筆記試験								
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
基礎運動学 第6版			中村隆一 他			医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】								
中間テスト30%+終講試験70%で評価								